

子ども手当の受給資格に係る申立書

高石市長 様

【申立人】 (子ども手当の請求者)

住 所

〒 ー

氏 名

㊞

私は、「平成 23 年度における子ども手当の支給等に関する特別措置法」(平成 23 年法律第 107 号) 第 4 条第 3 項の規定に基づく子どもと同居している者として、下記のとおり申し立てます。

記

同居している子ども	氏 名 〔性別〕 (生年月日)	〔男・女〕 (平成 年 月 日生)
	氏 名 〔性別〕 (生年月日)	〔男・女〕 (平成 年 月 日生)
	氏 名 〔性別〕 (生年月日)	〔男・女〕 (平成 年 月 日生)
別居している配偶者(上記子どもの親)の状況	氏 名	
	上記子どもとの続柄	
	住 所	〒 ー 勤務先：
配偶者との別居に係る状況	※該当欄に✓、その他の場合は〔 〕に具体的理由を記入してください。 <input type="checkbox"/> 離婚協議中につき別居している <input type="checkbox"/> その他〔 〕	
配偶者との別居に係る状況を証明する書類	別添 (※)	

※離婚協議中であることを明らかにできる書類(協議離婚申し入れに係る内容証明郵便の謄本、調停期日呼出状の写し、家庭裁判所における事件係属証明書、調停不成立証明書等)を添付してください。

【参考】平成23年度における子ども手当の支給等に関する特別措置法（抄）

第4条 子ども手当は、次の各号のいずれかに該当する者に支給する。

- 一 次のイ又はロに掲げる子ども（以下「支給要件子ども」という。）を監護し、かつ、これと生計を同じくするその父又は母（当該支給要件子どもに係る未成年後見人があるときは、その未成年後見人とする。以下この項において「父母等」という。）であって、日本国内に住所を有するもの
 - イ 15歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある子ども（施設入所等子どもを除く。以下この条及び次条において「中学校修了前の子ども」という。）
 - ロ 中学校修了前の子どもを含む二人以上の子ども（施設入所等子どもを除く。）
 - 二 日本国内に住所を有しない父母等がその生計を維持している支給要件子どもと同居し、これを監護し、かつ、これと生計を同じくする者（当該支給要件子どもと同居することが困難であると認められる場合にあっては、当該支給要件子どもを監護し、かつ、これと生計を同じくする者とする。）のうち、当該支給要件子どもの生計を維持している父母等が指定する者であって、日本国内に住所を有するもの（当該支給要件子どもの父母等を除く。以下「父母指定者」という。）
 - 三 父母等又は父母指定者のいずれにも監護されず又はこれらと生計を同じくしない支給要件子どもを監護し、かつ、その生計を維持する者であって、日本国内に住所を有するもの
 - 四 （略）
- 2 前項第1号又は第2号の場合において、父及び母並びに父母指定者のうちいずれか2以上の者が当該父及び母の子である子どもを監護し、かつ、これと生計を同じくするときは、当該子どもは、当該父若しくは母又は父母指定者のうちいずれか当該子どもの生計を維持する程度の高い者によって監護これと生計を同じくするものとみなす。
- 3 前項の規定にかかわらず、子どもを監護し、かつ、これと生計を同じくするその父若しくは母又は父母指定者のうちいずれか一の者が当該子どもと同居している場合（当該いずれか一の者が当該子どもを監護し、かつ、これと生計を同じくするその他の父若しくは母又は父母指定者と生計を同じくしない場合に限る。）は、当該子どもは、当該同居している父若しくは母又は父母指定者によって監護され、かつ、これと生計を同じくするものとみなす。